

平成28年度京都市民健康づくり推進会議 口腔保健部会 摘録

1 開催日時

平成28年10月28日（金）午後1時30分～3時

2 開催場所

本能寺会館 西館5階「雁」

3 出席者

畿央大学健康科学部健康栄養学科教授

山本 隆

市民公募委員

駒井 一正

京都市 PTA 連絡協議会副会長

比嘉 光雄

（公社）京都市保育園連盟理事

嶋本 弘文

（一社）京都府医師会理事

藤村 聡

（一社）京都府歯科医師会理事

岸本 知弘

（一社）京都府薬剤師会参与

谷尾 桂子

（公社）京都府看護協会専務理事

中島 すま子

（公社）京都府栄養士会副会長

熊谷 幸江

（公社）京都府歯科衛生士会会長

白波瀬 由香里

（一社）京都府歯科技工士会副会長

高橋 祥高

京都市教育委員会事務局体育健康教育室学校保健担当係長

林 和津慎

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課担当課長

中村 典子

京都市保健福祉局子育て支援部保育課公営保育所担当課長

村上 文彦

京都市保健福祉局生活福祉部保険年金課特定保健指導第二係長

木村 淑子

事務局（京都市保健福祉局保健衛生推進室）保健衛生推進室長

松田 一成

保健担当部長

吉山 真紀子

保健医療課長

志摩 裕丈

歯科保健係長

橋野 恵衣

4 摘録

【開会の挨拶】 事務局（松田保健衛生推進室長）

【出席者紹介】 事務局（志摩保健医療課長）

【部会長挨拶】 山本部会長

【議 事】 進行 山本部会長

1 京都市における歯科口腔保健の取組と現状について

○ 報告 事務局（橋野歯科保健係長）

- ・ 京都市では、平成21年3月に策定した京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」（以下、指針）に基づき、歯科口腔保健に関する施策や取組を推進している。むし

歯予防、歯周病予防、口腔機能の維持・向上を3つの基本目標とし、妊娠期・乳幼児期から高齢期に至るライフステージごとやセルフケアの困難な方に対して、口腔保健施策の推進に取り組んでいる。

- ・ 母子口腔保健については、子どもの歯と口の成長の変化に合わせ、各健診・相談事業の他、フッ化物を応用したむし歯予防を中心に取組を進めている。
- ・ 成人期以降の口腔保健については、歯の健康と全身の健康の関連や8020運動の推進を踏まえ、主に歯周病予防を図り歯の喪失防止に努めている。また、低栄養や摂食嚥下紹介等につながる口腔機能の低下を予防するため、口腔機能の維持・向上に対する取組も行っている。
- ・ お口のセルフケアが困難な方の口腔保健については、障害者（児）や要介護高齢者の方の口腔保健の向上を図るために、口腔ケアを推進する取組を行っている。また、歯科健診や歯科治療の提供体制の確保に努めている。
- ・ 平成28年度は、左京区の健康づくりサポーター「にっこり元気左ポーターズ」が京都府歯科保健文化賞（京都府歯科医師会主催）を受賞した。例年、学校保健の取組による受賞が多い中、本年度は加えて、市民ボランティア等によるお口の体操（さくらちゃん体操お口バージョン）の作成及び普及啓発の活動に評価をいただいた。今後の市内におけるお口の体操の広がりにつながることを期待していただいていると認識している。

○ 意見交換（議事1）

（一社）京都府歯科医師会（岸本理事）

京都府歯科医師会としては、地域の各歯科医院が、啓発や教育の場としての役割を果たしていく必要があると思っている。左京区の健康づくりサポーターのような市民活動の取組もそのような地域に根差した歯科口腔保健の推進を後押しするのではないかと期待している。

2 京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」の改定について

- ・ 本指針は、「京都市民健康づくりプラン（平成14年3月策定）」の中間評価の際に分野別行動指針として平成21年3月に策定されたものであり、「京都市民健康づくりプラン（第2次）（平成25年3月）」においても、引き続き「歯の健康」の分野別行動指針として位置付けられている。
- ・ 指針策定後、国においては歯科口腔保健法が成立し、京都市でも「健康長寿のまち・京都」の取組がスタートするなど、歯と口の健康を取り巻く状況や求められる対策も変化している。
- ・ 現在の指針の評価項目についてはすでに目標値を達成しているものもあり、更新や新たな評価項目の設定等の検討が必要となっている。
- ・ 以上のことから、本市としては、現指針の評価を踏まえ、新たな指針の策定を行うこととする。これらの検討にあたっては、健康づくり推進会議口腔保健部会を通じ、有識者や関係団体との意見交換を行い、平成30年3月の策定を目指して進めていく予定である。

3 平成28年度市政総合アンケートにおける歯科口腔保健に関する調査について

- ・ 指針の評価項目の評価や新たな目標項目の検討を行うため、市民の歯科保健状況の現状値を把握する必要がある。
- ・ 市の保健事業等のデータを活用する他、平成28年度下半期に実施する市政総合アンケートを活用する予定である。
- ・ 市政総合アンケートの調査票案（歯科保健部分）については、本部会でいただいた御意見を参考にさせていただき、検討してまいりたい。

○ 意見交換（議事2及び3）

京都市保健福祉局生活福祉部保険年金課（木村特定保健指導第二係長）

厚労省が、平成30年度から開始される第3期特定健康診査実施計画における標準的な質問票において、「食事をかんで食べる時の状態」についての項目を追加する案を示している（情報提供）。

京都市保健福祉局子育て支援部保育課（村上公営保育所担当課長）

市営保育所の4、5歳児クラスでの集団フッ化物洗口の取組については、本年度新たに4箇所でも新たに開始した。引き続き、順次進めていく予定である。

京都市教育委員会事務局体育健康教育室（林学校保健担当係長）

京都市立の小学校では、全ての学校で集団フッ化物洗口に取り組んでいる。むし歯予防以外の取組としては、歯牙保存液を各校に配布した。保存液の活用により、処置がうまくいった例もあると聞いている。

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（中村担当課長）

京都市の介護予防事業では、地域介護予防推進センターにおいて、1次予防・2次予防対象者に対し、各々歯科医師・歯科衛生士による口腔機能向上プログラム等を行っている。

（一社）京都府歯科医師会（岸本理事）

アンケート案については、特定健診の質問項目（案）等と絡めるなどすれば、全国的な数値比較ができるのではないかと。また、食べることにに関する設問もあるが、「食べることができる」状態であっても、「食べたいものが食べられる」ということと、「食べられるものを食べている」ということは異なるという認識は必要であろう。また、国に合わせることに拘らず、京都市ならではの項目をいくつか含んでもよいのではないだろうか。オノマトペには、シャキシャキ、コリコリなど食べる状態を表すものや、ジクジクやズキズキなどの歯医者で症状を表現する時に使われるものなどもある。このような表現を使うなど、独自の質問が表現できるのではないかと。全体的な方針については賛同する。着実に進めていただきたい。また、5年くらい先の現実的な目標を設定するとともに、更にもっと先を見越した長期的な視野からも検討を加えていただきたい。

事務局（橋野歯科保健係長）

新たな指針の評価指標について、全国値の収集のしやすさや国の方針との一致等の利点から国の歯科口腔保健関連の指標は参考にする予定であるが、必ずしも同一のものでなければならぬとは考えていない。御意見をいただいたように、京都らしさや地域性を考慮した独自の指標を設定するかも含めて、今後検討をしてみたい。

（公社）京都府歯科衛生士会（白波瀬会長）

歯科衛生士の会員の約90%は、歯科医院等に勤務しながら日常的に歯科保健指導に携わっている。その時の経験から言うと、自分の歯の本数がわからない人の方が多いのではないかと。また、たくさんの情報があふれており、どれを拾っていいのかわからないという声も聞く。歯科衛生士会としても、地域に根差した情報発信等、市民の方と直接接しながら、歯科口腔保健の向上に向けた取組を進めてみたい。

事務局（橋野歯科保健係長）

御指摘いただいたとおり、質問票による歯の本数の調査については、口腔診査による方法よりも正確性に劣る。しかし、厚生労働省の国民健康栄養調査等においても質問票による調査が行われている等、口腔診査を行わない場合の代替の方法としては一般的であり、現在の指針の策定時と資料採取の方法を一致させるという観点からも今回は質問票による方法を選択した。どんな方にも御理解いただけるように、アンケートの設問や表現を工夫してみたい。

（公社）京都市保育園連盟（嶋本理事）

連盟として、保育園でのフッ化物洗口を推奨しているが、各保育園では薬剤購入や管理、コストの面などで実施に消極的なところがある。約250ほどある全ての園のどこでもできるように支援策の充実や手法の簡略化なども御検討いただきたい。

事務局（橋野歯科保健係長）

保育園等へのフッ化物洗口支援事業については、開始以降、薬剤の購入等についての手法の簡略化も行ってきているが、今後の取組については、貴連盟を始め、御意見をいただきながら効果的な方法を探してみたい。

（一社）京都府歯科医師会（岸本理事）

指針というのは策定するだけでなく、それを推していくことが重要だと考える。京都市の歯科口腔保健を進めていく方針として、市民を始め、地域の歯科医院、関係団体・関係機関等にアピールしていただきたい。そのためにも歯科医師会は、京都市と地道な連携を取って、協力してみたい。

【閉会の挨拶】（事務局 吉山保健担当部長）